

# 串間市地域公共交通利便増進実施計画(概要)

新規



- 串間市では、人口減少や高齢化の急速な進行に伴う移動ニーズの量的・質的な変化に加え、観光ニーズや支所移転等まちづくりにも対応した交通体系の実現、持続可能な地域公共交通の構築、新たな生活様式に合わせた交通サービスの対応といった課題がある。
- これらの課題に対処するために、市内の公共交通に関して、市町村有償運送によるコミュニティバス（よかバス）を広範囲で運行するとともに、中心市街地での道の駅開業にあわせて、道の駅を乗継拠点とした路線網に再編に取り組むことで、幹線交通（鉄道）と地域内交通（コミュニティバス）の接続を維持向上させ、持続可能な地域公共交通の構築を目指す。

## 事業の内容

- ①道の駅を拠点とした路線網への再編  
市内中心部における道の駅しまの整備と連携し、市民の憩いの場としての機能や交流拠点としての機能を最大限に発揮するため、道の駅を拠点としたよかバス（市街地循環線および集落線）の路線網の再編を図る。
- ②コミュニティバスの路線・運行水準の見直しと鉄道との接続性確保  
路線の再編に合わせて路線の延伸やダイヤの見直しを行い、また串間市居住者の市外への移動時や、観光来訪者の移動利便性を確保するため、JR 日南線の串間駅において鉄道とよかバスの接続を図る。

## 事業の効果

- ・市内中心部における利用者利便性の向上  
市内中心部に新設する道の駅を拠点とした路線網（市街地循環線と集落線の結節点）再編により、市内中心部での滞在時間の考慮、利用者の待合環境の改善など利便性の向上
- ・外出行動に適した運行ダイヤへの改善  
利用者の行動にあわせた改善、市街地循環線と集落線の接続時間を考慮した改善による利便性の向上
- ・鉄道とよかバスの接続性の確保など観光需要への対応  
JR日南線との接続時間の改善、路線の見直しにより観光地である都井岬灯台への公共交通による移動が可能となることで観光来訪者の利便性の向上

## 自治体担当者のコメント

民間路線バスの撤退後、「よかバス」で市全域を網羅するため、いかに市民の利便性を向上させられるかを考えております。利用者の多くは高齢者で、通院や買い物等の生活交通として利用されており、「よかバスがあるおかげで助かっている。」との声をいただいております。

- ・作成自治体 宮崎県串間市
- ・事業実施区域 串間市
- ・事業実施予定期間 R3年4月～R6年3月

## 串間市の地域公共交通網の将来像

